

今年で二代目 ～宇宙から帰ってきた白菜～

9月10日に塩竈市^{さぶさわじま}寒風沢島の寒風沢コミュニティ農園で「二代目」宇宙白菜の定植イベントが行われた。

当日は、島内外から10組の親子が参加し、市農業委員会や島民が耕した農園に約1,000株の苗を定植した。



今回定植した苗は、東日本大震災から10年の節目にあたる昨年3月11日に行われたロケット打ち上げ事業「東北宇宙ミッション2021」で、宇宙から帰還した宮城の伝統野菜「松島白菜」の種を開花させ、採種したものの。



宇宙から帰還した種は本年寒風沢島に定植され、今年の4月下旬から5月上旬にかけて菜の花が満開となった。島を訪れた人を楽しませた後、6月に種を取り、これを使って育苗し、定植した。

白菜が順調に生育すれば、11月下旬から12月にかけて収穫され、市立保育園の給食のメニューなどに提供するほか、市内外のイベントで販売される予定だ。